

市民ひろば

発行人 市民ひろば編集委員会
〒411-0858
三島市中央町3-32 小出ビル3F
代表 小野 啓一
電話：055-994-9211
shimin_hiroba@ybb.ne.jp
振替 00870-5-153264
市民ひろば

ひろば新聞定期購読者募集
申し込みは上記連絡先へ



書き留めて ㊹ あきの かずこ
「少女像の膝元におかれし花一輪
ハングルのくこの春なお遠し」
尾根に咲く山ざくらさつぷくしき
媚みず惑わず口をひらけ

三島市議会2月定例会終わる 文化振興に関する所管が市長部局に移される

三島市議会2月定例会では水道料金の値上げ、副市長一人制、次年度予算審議などがおこなわれた。注目しなければならぬ条例改正は文化振興に関する所管を教育委員会から産業振興部の所管に移す内容である。

議会最終日の3月17日、2017年度予算案のほか、いくつかの重要案件が審議された。予算案は委員会審議の後、後討論が行われ全会一致で可決された。

重要案件の一つは人事案件である。副市長二人制が4年限りであるが可決されたので、今までの副市長は退任し、新たな副市長に梅原薫氏と県からの出向の小坂寿男氏の両氏が一括提案され、2人の退席者がある中で承認された。

しかしこの提案の仕方には問題がある。人事案件は一件ずつ議論して決めていくのが筋ではないだろうか。一人は良いがもう一人はだめだという場合だつてある。今回の議事の進め方の手段とする、文化都市の

名に恥じる内容だ。それが、市民の目に届かない場所でも提案され、所管である教育委員会でも十分な議論がなされず、市議会でも議論抜きで可決されたことは残念だ。文化行政がしっかりと行われなければならない。文化行政と文化財保護を分離するという機構改革は、産業振興部を産業文化部と名前を変えたが、文化を産業の道具にしようとする意図が見え見えだ。今後の三島市の文化行政に禍根を残すことにならないよう、監視の目を緩めずしっかりと見ていきたい。

もうひとつは、下水道部をなくし新たに都市基盤部を新設し、インフラ整備と一体化するなどの機構改革に関する条例改正である。市議会には行政の追認機能ではない。行政をチェックし、動かしていくという機能が



裸の王様

安倍政権の閣僚の顔ぶれは、日本最大の右翼団体である「日本会議」に所属する者が、20人中15名もいる。また、日本会議と同根の「神道政治連盟」には、公明党の石井国交大臣を除く閣僚全員が加盟している。

日本会議は1997年に結成されて以来、新憲法制定などの運動を主導し、戦前の天皇を中心とした「美しい日本を取り戻す」ことを目標に活動している。

特に「NHKや日本の大メディアが自民党政権の意を汲んで、国民の知る権利

劣化が進む安倍政権

修正主義者」と見られ、安学園疑惑は、国有財産を食った疑念、大塚事件への可能性を帯びて来た。

その一方で、今村復興相が4月4日の会見で、福島原発事故での自主避難者に「自己責任」「裁判でも何んでもやればよい」と暴言を吐いて、国民の知る権利

「少女像の膝元におかれし花一輪 ハングルのくこの春なお遠し」

尾根に咲く山ざくらさつぷくしき

媚みず惑わず口をひらけ

労働規制にしても、従来から過労死ラインとされた月百時間まで許されるとなると何のための規制かと言われる始末だ。

今や総労働人口の4割近くが派遣や非正規労働者で占められる。それらが「同一労働同一賃金」の掛け声で、正社員と同じ働きをしているから待遇も正社員並みになるというのは、財界からの圧力も予想され、甘い考えだろう。

官邸の考える「同一労働同一賃金」は、派遣の処遇を正社員並みに引き上げるのではなく、正社員の処遇を派遣並みに引き下げて「同一労働同一賃金」を目標にしているのかも知れない。

「H」

働き方改革の欺瞞

3月28日、「働き方改革実現会議」(議長：安倍晋三)は残業時間の上限(三首相)は残業時間の上限を月百時間未満とする案をとりまとめた。秋にも「残業上限規制を定める労働基準法改正案」として国会に提出する方針とのこと。

それについて、昨年12月大手広告代理店電通で過労死自殺した高橋まつりさんの母親は過労死遺族として、

「働き方改革」とは、財界の意向を取り入れた内容で、当初のアドバロンとはかけ離れたものになっている。

官邸主導の「働き方改革」の考えは、派遣の処遇を正社員並みに引き上げるのではなく、正社員の処遇を派遣並みに引き下げて「同一労働同一賃金」を目標にしているのかも知れない。

長時間労働にしろ、従来から過労死ラインとされた月百時間まで許されるとなると何のための規制かと言われる始末だ。

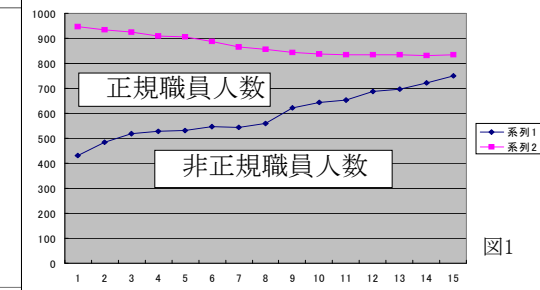
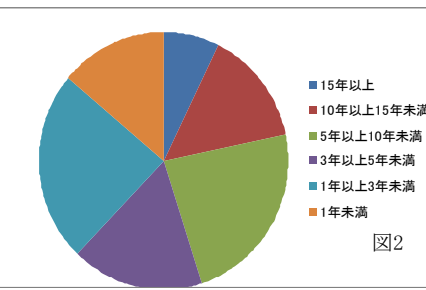
今や総労働人口の4割近くが派遣や非正規労働者で占められる。それらが「同一労働同一賃金」の掛け声で、正社員と同じ働きをしているから待遇も正社員並みになるというのは、財界からの圧力も予想され、甘い考えだろう。

官邸の考える「同一労働同一賃金」は、派遣の処遇を正社員並みに引き上げるのではなく、正社員の処遇を派遣並みに引き下げて「同一労働同一賃金」を目標にしているのかも知れない。

「H」

増加一途の三島市 非正規職員の数

昨年4月での調査では正規職員は833人、非正規職員は748人で、何と全職員の48.2%が非正規職員であることが分かった。市役所対応してくる職員2人、1人は非正規職員ということだ。少しおかしなところはないか。非正規職員は正規職員に比べて年収は少ない。今回の副市長1人の増加は4人の非正規職員の整理に



三島市谷田にある国立遺伝学研究所(遺伝研)の一般公開に行ってきた。毎年4月の初旬の土曜日に行われる催しものだ。約200種の桜が構内の周囲に植えてある。色々な桜の鑑賞と世界一流の研究所の様子が見学できるということで、毎年大賑わいだ。今年も桜の開花が遅れ、さらに雨天という悪条件であったが、ダーウィンの一種の起源の初版本が見ることができるとのことだ。館内はごった返していた。

国立遺伝学研究所は1949年(昭和24年)秋、元軍需工場跡地に開設された。気候温暖で、東京の日帰り圏内であるのに有力な大学がないことが、学園にとらわれず研究できる場所を望んでいた学者らのお目にかかった。これが三島に、世界に誇る国立の研究施設ができた理由だ。

坂下から続く桜並木は開設時に植栽されたもので、今では風格のある道になっている。50年前のコンクリート進出阻止に成功した住民運動の陰には遺伝研の存在も大きかった。三島市の調査団長松村清二先生は遺伝研の変遷を語り、ここでご公責が起されれば研究成果の信頼性が損なわれる心配がある。

三島市の市花に選ばれている「シマザクラ」も遺伝研を抜きには語れない。ソメイヨシノの起源の研究は遺伝研の竹中要先生を中心に行われ、研究の過程で形質がソメイヨシノによく似た実生の桜を見つけた。その桜をシマザクラと名付けたのだ。

遺伝研の一般公開日に人が集まるもう一つの理由は変わり朝顔のタネを求めるとだ。変わり朝顔の研究も竹中先生のテーマであった。今は研究の中心は九州大学に移つてしまふが、年に一度一般公開日にタネの頒布を行つており毎年沢山の方が求めていく。夏になってどこかの軒先で変わった朝顔をみつけたら、遺伝研の存在に思いを馳せてほしい。

「H」

ひろばパソコン教室のご案内
毎週水曜日 夜
生涯学習センター
5F (パソコン教室)
午後7時～8時半
月4千円 1回1000円
【個別指導対応】
iPad、スマホの使い方、ワード、エクセル、
デジカメ、画像処理、3DCADの使い方等
連絡先：080-3636-0168 (原田)

沼津市のオアシス
和風カフェ&ギャラリー ねこや
沼津市千本港町 77-4 沼津みなとアートビル
TEL:055-943-5541
営業時間 10:30～17:30 休み:水曜・木曜
・ギャラリー展示・
～4/25(火)
荻生昌平水彩画展
4/28(金)～5/30(火)
神の手を持つ内田定次の木画と浮世絵展

長い歴史に培われた確かな目
人生の節目に、信頼の置ける

時計・宝飾・メガネ

小坂

時計の修理、電池交換はもちろん
お手持ちの宝石のリフォームなど
ぜひお気軽にご相談下さい

三島市本町 8-1
055-975-1345

文盛堂書店

定期購読の雑誌等、配達承ります

営業時間 9:30～19:00

住所 三島市中央町2-37
(中央町商店街)

電話 055-975-4229
FAX 055-972-3319

定休日 元旦

http://www.e-hon.ne.jp/bec/SHOP52033

トータルビューティ

TAYA

代表
美の匠 田屋有季子

花嫁着付・一般着付
カット&パーマ
フェイスリンパマッサージ

〒411-0801
三島市谷田 243-2
TEL&FAX 055-981-8019
携帯 090-8154-4324